

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

3219 2026 年 7 月 19 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 9 主日)

司式者 井 殿 準
奏楽者 岡 野 和 美

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 149 : 1b ~ 3	司 式 者
讃 美 歌	2 「聖なるみ神は」	一 同
聖 書	II コリント 6 : 1 ~ 10 (新 P. 331)	司 式 者
使徒信条	(9 3 - 4 - A)	一 同
祈 祷		司 式 者
讃 美 歌	1 0 0 「聞きたまえわれらの祈り」(1~4節)	一 同
説 教	「今や、恵みの時!」	司 式 者
祈 祷		〃
讃 美 歌	3 9 4 「信仰うけつぎ」	一 同
献 金		〃
主の祈り	(9 3 - 5 - A)	〃
頌 栄	2 4 「たたえよ、主の民」	〃
祝 祷		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～		
報 告		司 式 者
讃 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備しておりますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「神と向き合うことで」

(列王記上 10 : 1 ~ 13、マルコ 8 : 22 ~ 26)

ベトサイダにおける盲人の癒しのように、癒やしが段階的に行われていることは非常に珍しい。また、この次第に見えるようになるプロセスは、教会に來始めた人が次第に信仰を与えられて行くのに似ている。

人は何かを求めて教会の門をくぐるが、最初は聖書の言葉も説教の言葉もよく分からないことだろう。しかし、何度も教会に足を運ぶことの中で、次第に心の目と耳が開かれ、それらが分かるようになって行き、信仰に至ることになる。

列王記の御言葉にはソロモンの知恵の素晴らしさが語られていた。ソロモンはシェバの女王が用意して來た多くの難問をたちどころに答え、女王を感嘆させた。彼の知恵は、かつて神に願って与えられたものであった(列上 3 章)。彼はその知恵を用いて父ダビデの治世をはるかに上回る繁栄を王国にもたらしたが、後に、自分の知恵が「民を正しく裁くため」に与えられていたことを忘れて、民を苦しめ、神の御前に進み出ることをやめてしまった時、王国は衰退を始めてしまう。その時、ソロモンは、もはやどんなに知恵を絞っても、王国の衰退を食い止めることはできなかった。

ソロモンは、あの素晴らしい知恵を神から授かった時、まさか自分が神に背いて罪を重ねる等、思いもしなかったことだろう。使徒パウロも「わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。わたしはなんと惨めな人間なのでしょう」(ローマ 7 : 19)と述べていたが、人にはどうしても自分を律することができず、罪を犯してしまうことがある。しかし、それならなおさら、我々は日々しっかりと主と向き合う必要があると言えよう。

「わたしはなんと惨めな人間なのか」と嘆き悲しむ失意の底で、主の御前に進み出る時、主イエスは我々に「それでもあなたはわたしが命を賭けるほどに尊い存在なのだ」「あなたが今ここに生きていること、それ自体がかけがえなく尊いのだ」と語りかけてくださり、我々を立ち上がらせてくださる。この語りかけを聴くために、我々は日々神と向き合い、力を与えられつつ、これからも力強く歩んで行こう。